



常澄中学校だより

「常に澄む」

令和7年12月 5日

No.10

「常に正しかれ」「常に豊かなれ」「常に気高かれ」

2025年を振り返ろう。反省は次の飛躍へのステップ！

校舎の西側にある大きなもみじの木ですが、金曜日に「緑が見えるけど、だいぶ赤くなってきたな。常中もまさに秋本番だな」と思い、写真を撮りました。土日を挟んだ3日後、同じ木を見ると、なお一層葉っぱを赤く染めていました。季節の変化の速さを感じました。

さあ、2025年も残すところ20日余りとなりました。今年は皆さんにとってどのような年だったでしょうか。

この時期になると、「反省をしましょう」と、よく言われます。多くの人は、この言葉で自分のできなかったところ、悪かったところを考えてしまうと思います。しかし、まず、1年間頑張ってきたこと、努力してきたことを考えてみましょう。その中には、当たり前だと思ってやってきたことも入れてみてください。たくさんの「いいこと」をしてきているのではないのでしょうか。それは、とても素晴らしいことです。自分をほめ、自信にしていってください。そして、それを継続していってください。

次に、「やっていればよかったこと」「やらなければよかったこと」「直した方がいいこと」など、「よくなかったな」と思うことを思い出してみよう。思い出せたということは、「よくなかった」と自覚できたということです。自覚できるということは、心がけ一つで直せるということです。2026年を今年よりさらによい年にするために、ぜひ、自分自身をバージョンアップさせてください。今月は、2025年にとった行動を振り返り、反省する月としてください。

反省は、次の飛躍へのステップです。

11/28：校舎西側のもみじ



12/3：3日後のようす

